

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 愛知銀行
 コード番号 8527 URL <http://www.aichibank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 小出 真市
 (氏名) 早川 潤
 特定取引勘定設置の有無 無

TEL 052-251-3211

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	47,005	—	2,872	—	879	—
20年3月期第3四半期	45,811	4.7	8,272	△23.1	4,279	△37.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	80.80	—
20年3月期第3四半期	392.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	2,539,042	—	147,171	5.7	—	5.7	879	13,266.09
20年3月期	2,543,098	—	167,946	6.5	—	6.5	1,168.68	15,168.68

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 144,389百万円 20年3月期 165,193百万円

(注)「自己資本比率」は、「期末純資産の部合計-期末少数株主持分」を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	25.00	—	45.00	70.00
21年3月期	—	35.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	60,000	0.6	4,400	△55.6	2,000	△55.8	—	183.65

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	10,943,240株	20年3月期	10,943,240株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	59,112株	20年3月期	52,791株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	10,887,741株	20年3月期第3四半期	10,893,756株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期のわが国経済を振り返りますと、米国サブプライム問題に端を発した歴史的な金融危機が実体経済を直撃し、景気の後退感が急速に高まりました。

愛知県を中心とした当地域におきましても、世界的な景気後退による消費低迷と円高進行により、自動車関連を中心に製造業の業績の悪化が鮮明になってきました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の当行グループの業績は以下のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息の増加等により、前年同四半期比11億94百万円増収の470億5百万円となりました。一方、経常費用は、預金利息や有価証券関連損失の増加等により、前年同四半期比65億93百万円増加し441億33百万円となりました。この結果、経常利益は前年同四半期比53億99百万円減益の28億72百万円、四半期純利益は前年同四半期比33億99百万円減益の8億79百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の財政状態につきまして、総資産は、前連結会計年度末比40億円減少し、2兆5,390億円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比207億円減少し、1,471億円となりました。

主要勘定のうち、貸出金につきましては、主に事業先向けの貸出が増加したことにより、前連結会計年度末比475億円増加し、1兆5,417億円となりました。預金につきましては、株式相場の先行き不透明感から安定志向が高まったこともあり、前連結会計年度末比715億円増加し、2兆3,202億円となりました。

また、有価証券につきましては、前連結会計年度末比338億円減少し、8,062億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期通期の連結業績予想につきましては、金融市場の混乱による保有有価証券の減損処理の増加等を見込み、平成20年11月14日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたします。

【連結】 (単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	60,000	5,400	2,500
今回修正予想 (B)	60,000	4,400	2,000
増減額 (B - A)	—	△1,000	△500
増減率	—	△18.5%	△20%
前期実績 (平成20年3月期)	59,619	9,907	4,526

(参考)

【単体】 (単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	52,000	5,100	2,200
今回修正予想 (B)	52,000	4,100	1,800
増減額 (B - A)	—	△1,000	△400
増減率	—	△19.6%	△18.1%
前期実績 (平成20年3月期)	50,610	9,948	4,577

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・簡便な会計処理

1. 定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
2. 貸倒引当金は、中間連結会計期間末の予想損失率を適用して計上しております。
3. 法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。
4. 繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について中間連結会計期間末から大幅な変動がないと認められるため、当該中間連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。
5. 連結会社相互間の債権債務につきましては、合理的な範囲内で、当該債権の額と債務の額の差異の調整を行わずに相殺消去しております。
連結会社相互間の取引につきましては、取引金額の差異を合理的な方法により相殺消去しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号平成19年3月30日）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号同前）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間から同会計基準及び適用指針を適用しております。また、当該取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これにより、従来の方法に比べ、有形固定資産は15,419百万円減少し、その他資産は15,419百万円増加しておりますが、その他負債、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

なお、従来、金融取引として処理しておりましたリース債権の流動化のうち、当該流動化により譲渡したリース投資資産に含まれる将来のリース料を収受する権利に係る部分につき、金融資産の消滅の要件を満たしているものについては、譲渡の処理を行っております。

このため、リース債権の売却益130百万円を特別利益に計上しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	62,914	41,879
コールローン及び買入手形	28,833	62,899
買入金銭債権	—	3,999
商品有価証券	1,259	542
有価証券	806,204	840,092
投資損失引当金	△24	△9
貸出金	1,541,753	1,494,205
外国為替	1,732	1,444
その他資産	40,289	24,455
有形固定資産	34,027	49,470
無形固定資産	195	1,054
繰延税金資産	3,982	816
支払承諾見返	29,508	32,435
貸倒引当金	△11,634	△10,188
資産の部合計	2,539,042	2,543,098
負債の部		
預金	2,320,213	2,248,688
譲渡性預金	1,470	4,040
債券貸借取引受入担保金	5,037	36,749
借入金	10,760	11,248
外国為替	232	413
その他負債	12,862	19,664
賞与引当金	—	686
役員賞与引当金	—	33
退職給付引当金	3,074	2,952
役員退職慰労引当金	505	449
睡眠預金払戻損失引当金	210	251
偶発損失引当金	1,236	477
繰延税金負債	0	10,303
再評価に係る繰延税金負債	6,758	6,758
支払承諾	29,508	32,435
負債の部合計	2,391,870	2,375,152

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
資本金	18,000	18,000
資本剰余金	13,887	13,889
利益剰余金	98,991	98,982
自己株式	△558	△512
株主資本合計	130,319	130,359
その他有価証券評価差額金	6,662	27,425
土地再評価差額金	7,408	7,408
評価・換算差額等合計	14,070	34,833
少数株主持分	2,781	2,752
純資産の部合計	147,171	167,946
負債及び純資産の部合計	2,539,042	2,543,098

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
経常収益	47,005
資金運用収益	31,924
(うち貸出金利息)	20,987
(うち有価証券利息配当金)	10,620
役務取引等収益	10,210
その他業務収益	1,339
その他経常収益	3,531
経常費用	44,133
資金調達費用	5,023
(うち預金利息)	4,857
役務取引等費用	6,247
その他業務費用	4,335
営業経費	21,470
その他経常費用	7,055
経常利益	2,872
特別利益	138
償却債権取立益	5
リース債権売却益	130
その他の特別利益	2
特別損失	69
固定資産処分損	61
減損損失	7
税金等調整前四半期純利益	2,942
法人税、住民税及び事業税	3,357
法人税等調整額	△1,330
法人税等合計	2,027
少数株主利益	35
四半期純利益	879

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前第3四半期連結累計期間に係る損益計算書

科目	前年同四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額 (百万円)
経常収益	45,811
資金運用収益	31,209
(うち貸出金利息)	20,070
(うち有価証券利息配当金)	10,736
役務取引等収益	11,192
その他業務収益	757
その他経常収益	2,653
経常費用	37,539
資金調達費用	4,016
(うち預金利息)	3,844
役務取引等費用	7,238
その他業務費用	687
営業経費	21,053
その他経常費用	4,543
経常利益	8,272
特別利益	7
特別損失	980
税金等調整前四半期純利益	7,299
法人税、住民税及び事業税	3,980
法人税等調整額	△908
少数株主損失	52
四半期純利益	4,279

平成21年3月期第3四半期決算短信 説明資料

(1) 第3四半期の損益状況(単体)

科 目		前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成21年3月期 第3四半期)	増減
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
業務粗利益	1	30,078	26,464	△3,613
資金利益	2	27,248	26,879	△369
役務取引等利益	3	2,769	2,587	△181
その他業務利益	4	60	△3,002	△3,062
経費(除く臨時処理分)	5	20,343	20,372	29
人件費	6	10,621	10,862	241
物件費	7	8,514	8,427	△87
税金	8	1,207	1,083	△123
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	9	9,735	6,091	△3,643
コア業務純益	10	9,383	9,246	△136
一般貸倒引当金繰入額	11	719	△152	△872
業務純益	12	9,016	6,244	△2,771
うち国債等債券損益(5勘定戻)	13	351	△3,154	△3,506
臨時損益	14	△714	△3,754	△3,039
うち株式等損益(3勘定戻)	15	1,613	△914	△2,527
うち不良債権処理額	16	1,507	2,180	672
経常利益	17	8,301	2,490	△5,810
特別損益	18	△915	△58	856
税引前四半期純利益	19	7,386	2,432	△4,954
法人税、住民税及び事業税	20	3,669	3,131	△538
法人税等調整額	21	△578	△1,510	△931
四半期純利益	22	4,295	811	△3,483

(2) 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」 (単体)

(単位：百万円、%)

(参考)

	平成20年3月末	平成20年12月末	平成19年12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10,249	10,832	10,667
危険債権	41,294	47,269	40,657
要管理債権	7,923	8,581	8,306
小計 A	59,467	66,683	59,631
正常債権	1,489,438	1,527,184	1,483,023
合計 B	1,548,905	1,593,867	1,542,654
総与信に占める開示額の割合 A/B	3.83	4.18	3.86

(注) 上記の四半期末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

また、同計数は、当行の定める自己査定基準に基づく平成20年12月末時点の資産査定の結果による債務者区分を基に集計しております。

(3) 自己資本比率 (国内基準)

(単体)

	平成21年3月末 (予想値)
単体自己資本比率	10.70 % 程度
単体Tier1比率	10.00 % 程度

(参考)

	平成20年9月末 (実績)
自己資本比率	10.80 %
Tier1比率	10.08 %

(連結)

	平成21年3月末 (予想値)
連結自己資本比率	11.00 % 程度
連結Tier1比率	10.20 % 程度

(参考)

	平成20年9月末 (実績)
自己資本比率	11.07 %
Tier1比率	10.33 %

(注) 上記単体及び連結予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

(4) 時価のある有価証券の評価差額 (単体)

(単位：百万円)

(参考)

	平成20年3月末				平成20年12月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
その他 有価証券	810,683	42,158	52,157	9,998	778,209	9,270	25,514	16,243
株式	98,228	40,944	43,265	2,320	68,128	13,685	17,331	3,645
債券	538,938	3,658	7,449	3,790	552,739	1,798	7,781	5,982
外国債券	162,586	△2,662	410	3,073	151,976	△5,752	364	6,117
その他	10,930	218	1,032	814	5,364	△461	37	498

平成19年12月末			
時価	評価差額		
	うち益	うち損	
838,419	67,438	72,889	5,451
119,351	63,291	64,687	1,395
534,318	3,466	5,450	1,984
172,426	△1,201	618	1,819
12,323	1,881	2,133	251

(注) なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

(参考)

	平成20年3月末				平成20年12月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の 債券	9,390	213	213	0	8,898	152	152	—

平成19年12月末			
帳簿価額	含み損益		
	うち益	うち損	
10,438	222	222	0

(5) 預金等・貸出金の残高 (単体)

(単位：百万円)

(参考)

	平成20年3月末	平成20年12月末
預金等	2,254,569	2,323,916
個人預金	1,735,128	1,782,781
貸出金	1,497,313	1,545,035
うち消費者ローン	413,660	418,437
うち住宅ローン	398,645	405,294

平成19年12月末	
2,284,289	
1,744,283	
1,488,639	
412,395	
396,526	

(注) 預金等=預金+譲渡性預金

以上